

にぎわいやすらぎの まちづくり



昭和30年代の長崎市東山手付近 写真提供©堺屋修一

皆さんがお住まいのまちは、どのようなところですか？地域ならではの暮らしがあつて、素敵な人達が住んでいて…。それでも近頃、少し心配や不便を感じることはないでしょうか？例えば、空き家が増えて、防犯や防災に不安があるとか、昔に比べてまちの賑わいが減って寂しくなったとか、ご近所との交流が少なくなったとか…。



川の工事の前に地域の皆さんと一緒に、棲んでいる魚等を移動させています

少子高齢・人口減少社会になつて、私達のまちの課題はどんな複雑化・多様化しています。これまでの行政主体のやり方では、十分な解決につながらないことも考えられます。

まちの中で見つかるいろいろな課題は、実際にまちの中で暮らしたり働いたりしている人達が一緒に協力して取り組まなければ、なかなか解決できません。もちろん、公共施設の整備・改良など行政が担うまちの環境整備も大切ですが、住民の皆さんと行政が連携して取り組むことが必要ではないでしょうか。



県の景観まちづくり室が十八年度から実施している「にぎわい・やすらぎのまちづくり推進事業」では県内で十箇所のモデル地区を選定して、住民の皆さんと一緒に「まちづくり協働プラン」の策定を行っています。このプランは、地域の宝物や課題を踏まえて、地区の将来像を描き、そのために必要な取り組みを盛り込んだもので、これまでに四市町（松浦市・対馬市・雲仙市・東彼杵町）で策定済みです。

本年度は、三ヶ所で取り組みを行う予定で、現在二市町（五島市・川棚町）が決定しています。これからも「住民と行政の協働のまちづくり」を応援していきます。



「まちづくり協働プラン」策定のため地域の皆さんとまちあるき・ワークショップを行っています